

# 積極的平和主義

町長  
嶋田正義

最近困っていることの一つは、私の持っている辞書の説明と政府高官の国会説明の内容が符合しないことです。

「平和」を引いてみますと「戦争がなくおだやかなこと」となっており、高官の「積極的平和」とはかなり違っているように思えます。私は、平和な社会を作るために積極的に行動することかと思っていました。これもそうではないようです。

世界の政治、経済、軍事状況が大きく変化していることは理解できます。そのような状況下での「積極的平和主義」の行動はどうすればいいのでしょうか。私の思いはこうです。

中立の立場でどの国とも軍事同盟を結ばない  
第2次世界大戦の教訓と日本国憲法の精神に沿って政治、外交をすすめる  
核兵器廃絶を世界に向けて呼びかける  
日本は唯一の原爆被害の国であり、憲法9条を持つ国です。この方針は説得力を



第463会定例会  
(9月議会)

持ち最大の抑止力になると思います。

特別の地位にある日本が軍事同盟を結び、軍事基地を拡張し、軍力を拡大しながら積極的平和主義を訴えても信用されないと思います。

中立の立場でアメリカにも中国にも軍事拡大は止めにして、お金があるなら、地球環境を改善し、福祉教育に使いましようと呼びかけることが大切だと思います。

来年度の防衛費予算は5兆円を超えるといわれています。5兆円といえば福崎町の一般会計予算の5百年分以上です。世界中の軍事予算を一人ひとりのいのちと暮らしを守るために使いましようと呼びかける日本であって欲しいと思っています。

## 食育通信

～高岡小学校の取り組み～

### もちむぎ麺打ちに挑戦!

高岡小学校では、次の3つを目標に食育に取り組んでいます。

食べ物の大切さがわかる子

楽しくおいしく食べる子

望ましい食事のあり方やよりよい食習慣を身につける子

昨年度は3年生が、もち麦生産組合の方に指導をいただき、もちむぎ麺打ちに挑戦しました。初めは慣れない手つきでこねていた児童ですが、時間がたつにつれて力の入れ具合がわかり、薄く延ばすことができました。包丁でゆっくりゆっくり切り、お湯で湯がいてでき上がりです。できたてを試食した感想は「やっぱり自分で作った麺はおいしいね」「太い麺や細い麺が交じっているよ」など満足げでした。



### 第2回 福崎町歴史文化遺産継承事業

柳田国男生誕140年記念

### 福崎町文化財フォーラム 「福崎町の民俗文化財」

身近な  
文化財の魅力  
再発見!

福崎町内には、古くから受け継がれてきた多くの民俗文化財があります。身近にある民俗文化財をみなさんにもっと知っていただくため、文化財フォーラムを開催します。

参加無料

日時 11月8日(日) 13:30～

申込不要

会場 エルデホール

事例報告 地域に根ざした保存・継承活動を紹介します。

講演 大江 篤さん(園田学園女子大学教授)

問い合わせ先 社会教育課文化財係(内線257)

### 「福崎町お知らせシステム」について

お知らせシステムとは・・・

防災行政無線の放送内容を、放送と同時に希望者にメール配信するサービスです。

メール配信を希望される方は、次の登録ページに接続し、新規登録を行ってください。(メール受信にかかる通信料は、受信者の負担となります。)

登録ページ <http://www.town-fukusaki.jp/cel>

右のQRコードを読み取って登録することもできます。

問い合わせ先 総務課(内線221)

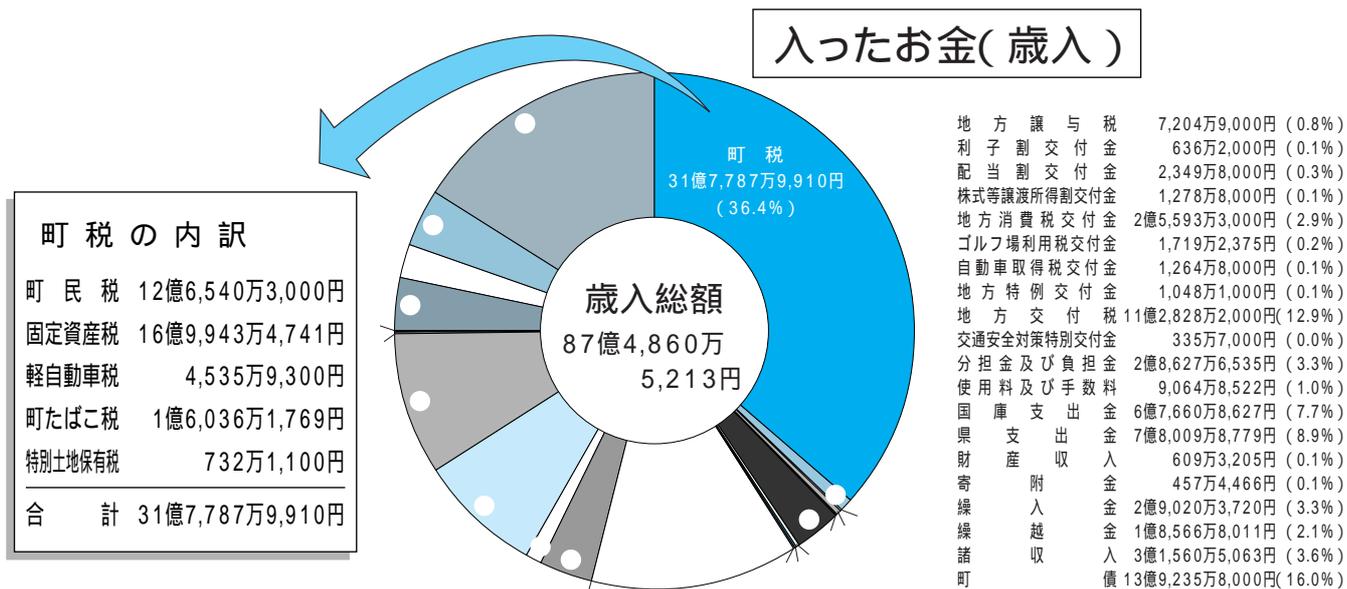


平成26年度の一般会計と特別会計の決算がまとまりました。

町の予算は、皆さんに納めていただいている税金や国・県からの補助金などによって運営されています。この1年間にどのくらいお金が入り、どのように使われたかを一般会計を中心にお知らせします。

平成26年度の一般会計の決算は、歳入総額87億4,860万5,213円、歳出総額85億5,276万7,636円で歳入歳出差引額は1億9,583万7,577円になりますが、ここから27年度へ繰り越した事業に必要な財源1,315万2,000円を差し引いて1億8,268万5,577円の実質収支となり、前年度繰越金、財政調整基金取崩額及び財政調整基金積立金を控除した実質単年度収支は、8,998万8,434円の赤字決算となりました。

決算にあたり、8月3日から11日までのうち5日間は監査委員の審査を、9月8日から14日までのうち4日間は議会決算審査特別委員会の審査を受けました。



## 町民1人あたりに納めていただいたお金は162,071円でした



町民1人あたりは、平成27年3月31日の総人口19,608人で割ったものです。



さるびあドーム



岸上大作の短歌が並ぶ「望郷の丘」

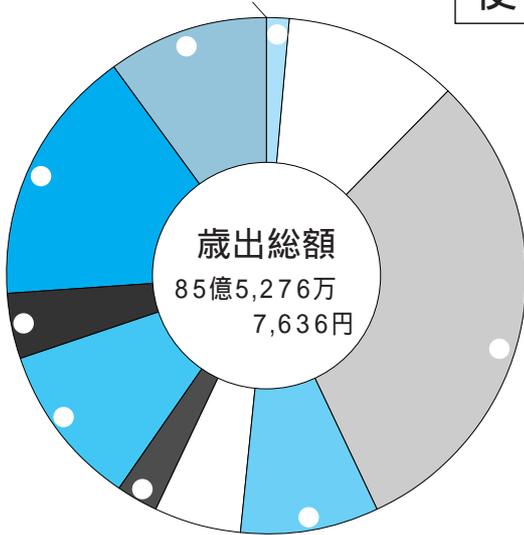
平成26年度  
福崎町の

# 決算

がまとまりました



## 使ったお金(歳出)



議会費	1億1,547万4,502円	(1.4%)
総務費	9億4,075万8,391円	(10.9%)
民生費	26億2,605万2,550円	(30.7%)
衛生費	7億3,578万9,759円	(8.6%)
農林水産業費	4億6,119万4,886円	(5.4%)
商工費	2億1,831万2,981円	(2.6%)
土木費	8億6,823万4,146円	(10.2%)
消防費	3億5,154万6,296円	(4.1%)
教育費	13億7,971万5,864円	(16.1%)
公債費	8億5,385万7,061円	(10.0%)
災害復旧費	183万1,200円	(0.0%)

自律(立)のまちづくり交付金事業



町民1人あたりに使われたお金は436,188円でした

民生費	教育費	総務費	土木費	公債費	衛生費	農林水産業費	23,521円
						消防費	17,929円
133,928円	70,365円	47,978円	44,280円	43,546円	37,525円	商工費	11,134円
						議会費	5,889円
						災害復旧費	93円

## 平成26年度 一般会計及び特別会計 決算

(単位:円)

会計名	歳入額	歳出額	差引残額
一般会計	8,748,605,213	8,552,767,636	195,837,577
国民健康保険事業特別会計	1,931,988,164	1,926,839,564	5,148,600
後期高齢者医療事業特別会計	226,683,569	222,718,693	3,964,876
介護保険事業特別会計	1,410,857,028	1,410,546,441	310,587
農業集落排水事業特別会計	254,170,762	254,170,762	0
公共下水道事業特別会計	1,211,305,175	1,195,305,175	16,000,000
計	13,783,609,911	13,562,348,271	221,261,640

# 決算の分析から見るまちの財政状況

## ・普通会計地方財政状況調査

総務省の基準にもとづいて、普通会計(介護施設分を除く一般会計)の財政状況を分析した地方財政状況調査から、この5年間の決算額の推移をまとめました。

### (1) 歳入の推移

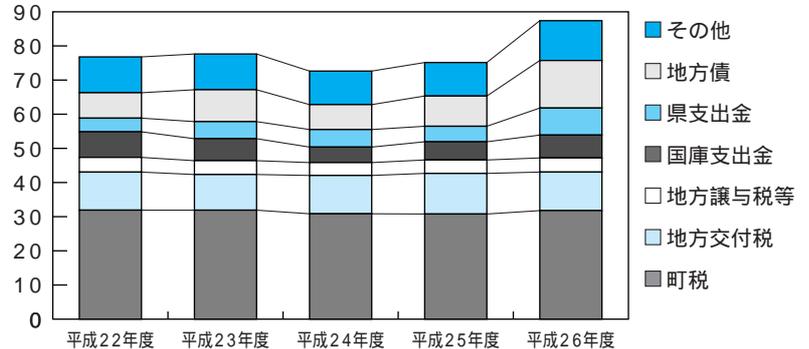
決算総額は、歳入・歳出ともに国・県の施策や投資的事業の状況により大きく変動します。平成26年度は投資的事業、物件費、繰出金等の増加により、決算総額は約12億2千万円の増となりました。収入項目ごとに見ると、町税は法人町民税の税割が4年ぶりに増収(前年比約+5,500万円)となったものの個人町民税は景気好転とはいえ減収となりました。また、固定資産税は土地(地価の下落を反映)は減収となりましたが、家屋(新築分増)及び償却(設備投資増)が増収となっており、町税全体で約1億円の増収となりました。地方交付税は、普通交付税と特別交付税をあわせて約6,060万円の減となっています。

借金である地方債は、投資的事業費等によって増減しますが、平成21年度から交付税の財源不足分を特例地方債で補てんする臨時財政対策債が大きく増加しており、平成26年度で4億8,076万円(前年比2,786万円)でしたが、投資的事業の増により地方債の発行額は約5億700万円増加しました。

(単位:千円)

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
町税	3,191,501	3,190,434	3,084,775	3,077,996	3,177,880
地方交付税	1,113,935	1,044,253	1,122,448	1,188,904	1,128,282
地方譲与税等	430,301	405,025	376,691	393,769	414,308
国庫支出金	748,811	643,889	454,134	532,237	669,243
県支出金	400,280	500,027	513,145	454,582	790,973
地方債	743,895	933,061	730,335	885,420	1,392,358
その他	1,050,046	1,046,756	981,645	980,996	1,166,027
歳入合計	7,678,769	7,763,445	7,263,173	7,513,904	8,739,071

(単位:億円)



### (2) 歳出の推移(性質別歳出)

歳出項目をその性質別に見ると、人件費は職員給与減額措置が終了したことにより職員給与・共済組合負担金等の増加が要因となり3,867万円の増となりました。扶助費は年々増加していますが、平成26年度は臨時給付金(福祉・子育て)の増が主な要因で8,283万円の増となっています。地方債に対する償還金である公債費は元金・利子と合わせて8億4,802万円を返済しました。

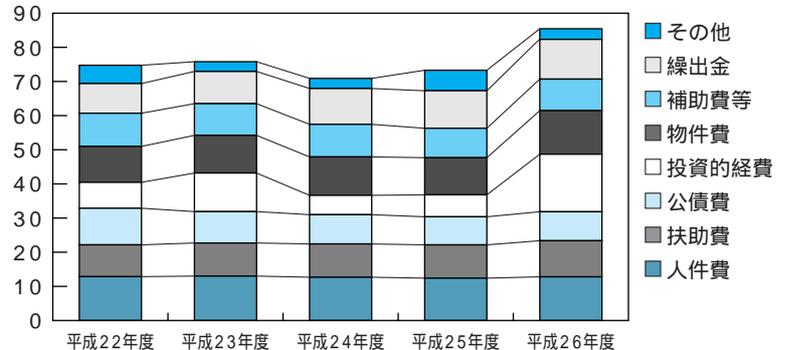
投資的経費は、高岡幼稚園・多目的(町民第3)グラウンドの建設、駅前周辺整備事業等により10億4,126万円の増となりました。

繰出金は、下水道事業会計への繰出金の増加に伴い年々増加しています。

(単位:千円)

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
義務的経費	3,287,295	3,189,067	3,099,027	3,037,303	3,184,380
人件費	1,284,014	1,300,840	1,267,205	1,239,860	1,278,530
扶助費	931,618	968,658	974,817	974,999	1,057,827
公債費	1,071,663	919,569	857,005	822,444	848,023
投資的経費	758,914	1,128,782	566,035	643,833	1,685,097
その他の経費	3,427,767	3,260,164	3,425,101	3,647,100	3,673,757
物件費	1,051,575	1,103,194	1,125,729	1,085,856	1,275,733
補助費等	971,746	928,211	953,597	861,839	923,888
繰出金	869,413	943,839	1,049,455	1,099,058	1,163,649
その他	535,033	284,920	296,320	600,347	310,487
歳出合計	7,473,976	7,578,013	7,090,163	7,328,236	8,543,234

(単位:億円)



### (3) 基金残高の推移

(単位:百万円)

#### 基金の概要

##### 財政調整基金

予測できない収入の減少や支出の増加に備えて積み立てておく基金です。

##### 特定目的基金

ふるさと応援、農業農村活性化、福祉など、特定目的のために積み立てておく基金です。

##### 定額運用基金

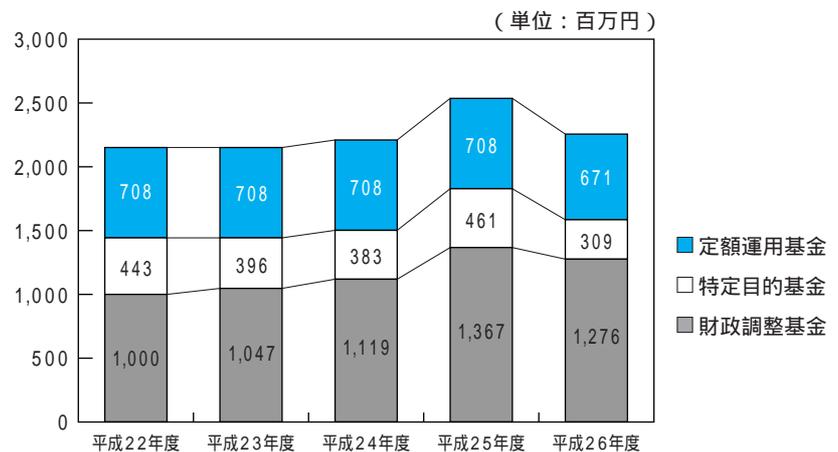
土地開発基金や用品調達基金など、定額の資金で事業や事務を運営する基金です。

特定目的基金総額は、農業農村活性化、福祉基金などを特定目的のために毎年取り崩しています。

財政調整基金は平成22年度に3億630万円、平成23年度に4,700万円、平成24年度に7,210万円、平成25年度に2億4,790万円積み立ててきましたが、平成26年度は9,250万円取崩したため減少しました。

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
基金残高	2,151	2,151	2,210	2,536	2,256
財政調整基金	1,000	1,047	1,119	1,367	1,276
特定目的基金	443	396	383	461	309
定額運用基金	708	708	708	708	671
1人当たり基金残高(円)	109,494	109,583	113,084	129,905	115,055

各年度末基金残高 / 3月31日現在総人口



### (4) 地方債残高の推移(全会計)

(単位:百万円)

#### 地方債の概要

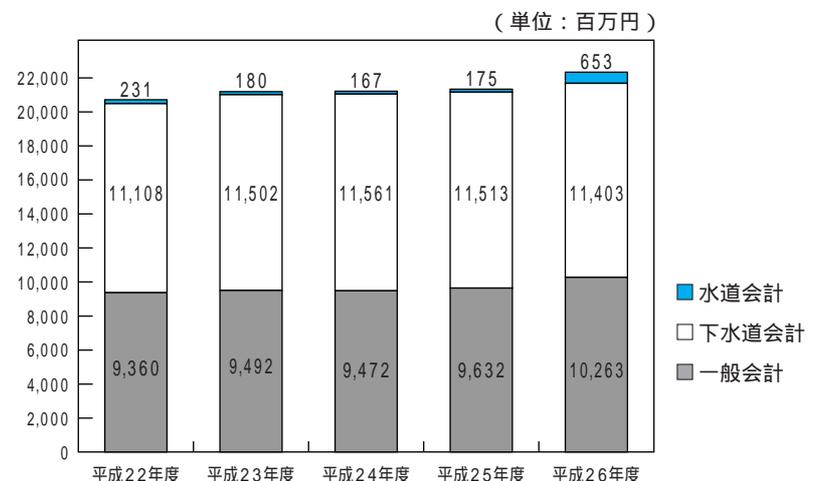
地方債は公共施設の建設など、一時的にたくさんのお金が必要な場合に借入するもので、次年度以降、償還していきます。償還に対して地方交付税で措置されるものもありますが、地方債残高が多くなれば次年度以降の償還金が大きくなり財政を圧迫していく要因となります。一般会計では地方債残高が、平成25年度は前年度比1億6,000万円、平成26年度では6億3,100万円と大幅に増加しています。さらに臨時財政対策債など、今後普通交付税に算入される地方債の割合が高くなっています。

一方、下水道会計は公共下水道事業の推進により地方債残高が毎年増加していましたが、平成25年度からは減少に転じています。今後も住居系の整備に引き続き工業団地の公共下水道整備を推進していくため、しばらくの間は将来世代の負担が大きくなっていきます。

水道会計は、水源地等の施設改良により地方債残高が4億7,800万円年増加しています。

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
一般会計	9,360	9,492	9,472	9,632	10,263
下水道会計	11,108	11,502	11,561	11,513	11,403
水道会計	231	180	167	175	653
合 計	20,699	21,174	21,200	21,320	22,319
1人当たり地方債残高(円)	1,053,652	1,078,710	1,084,787	1,092,101	1,138,260

各年度末地方債残高 / 3月31日現在総人口



## 健全化判断比率及び資金不足比率の算定結果について

(単位：%)

健全化判断比率	平成26年度決算	早期健全化基準 経営健全化基準	財政再生基準	備考
実質赤字比率	-	14.98	20.00	
連結実質赤字比率	-	19.98	30.00	
実質公債費比率	11.9	25.0	35.0	(前年比+0.2%)
将来負担比率	153.4	350.0		(前年比+31.9%)
資金不足比率	水道事業会計	-	20.00	
	工業用水道会計	-	20.00	
	農業集落排水事業特別会計	-	20.00	
	公共下水道事業特別会計	-	20.00	

平成26年度決算に基づき、健全化判断比率を算定しました。実質赤字比率、連結実質赤字比率については、ともに黒字決算であり該当しません。また、実質公債費比率は11.9%、将来負担比率は153.4%となり、いずれも早期健全化基準を下回っています。各公営企業会計における「資金不足比率」については、平成26年度決算において資金不足を生じた公営企業はないため、該当しません。

### 1. 健全化判断比率について

#### (1) 実質赤字比率

一般会計等を対象とした実質赤字額の、標準財政規模(人口、面積等から算定する当該団体の標準的な一般財源の規模)に対する比率であり、これが生じた場合には赤字の早期解消を図る必要があります。

#### (3) 実質公債費比率

一般会計等が負担する元利償還金などの、標準財政規模に対する比率です。この数値は、健全化判断比率とともに地方債許可基準としても用いられ、18%を超えると起債の許可が必要となり、25%を超えると一部の起債発行が制限されます。

#### (2) 連結実質赤字比率

公営企業会計を含む全会計を対象とした実質赤字額(または資金不足額)の、標準財政規模に対する比率であり、これが生じた場合には問題のある赤字会計が存在することとなり、赤字の早期解消を図る必要があります。

#### (4) 将来負担比率

一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の、標準財政規模に対する比率であり、これらの負債が将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すストック指標です。この比率が高い場合、将来これらの負担額を実際に支払う必要があることから、今後の財政運営が圧迫されるなどの問題が生じる可能性が高くなります。

### 2. 各公営企業の資金不足比率について

資金不足比率は、各公営企業ごとの資金不足額の、事業の規模に対する比率であり、経営健全化基準(20%)以上となった場合には、経営健全化計画を定めなければなりません。

## 福崎町／柳田國男 妖怪企画



第2回目のテーマは  
「小豆洗い」・「山の神」  
「雪女」の3つ。(複数応募可)

10月31日 土 締切

賞金 30万円 (一般部門) 中学生以下を対象とした  
1作品 ジュニア部門もございます。  
応募要項や応募規約等、詳しくはホームページをご覧ください。

全国妖怪造形コンテスト



■主催：兵庫県神崎郡福崎町  
■協賛：怪物屋 / ㈱ACRO / インフォーム(株) / ㈱ハセガワ / ㈱バジコ / ㈱ポップエス / faith

